

干潟や海浜等の保全・再生・創出

多様な環境機能を有する干潟の創造の推進

大阪湾奥部では、かつて豊かな干潟が広がり、人々にとって身近な憩いの場として、また干潟や海浜に生息する小動物と触れ合える場として豊かな自然環境を形成していました。しかし埋立等の開発事業に伴い、浅海域が失われ、水辺空間が本来持っていた生物の生息・生産の場としての機能が損なわれました。

そこで、堺泉北港、大阪港において、かつての自然を再生する手段として、干潟の整備を推進します。



堺2区干潟 イメージ



臨海部における緑の拠点形成

都市再生プロジェクト(第3次決定)において、「大都市圏における都市環境インフラの再生(臨海部における緑の拠点の形成)」として尼崎臨海部が位置づけられました。

『尼崎21世紀の森構想』では、尼崎臨海部における緑の拠点として先導的な森づくりを行い、臨海地域を魅力あるまちに再生するため、陸域での環境負荷を少なくするとともに、ゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを推進します。



尼崎の森中央緑地 イメージ